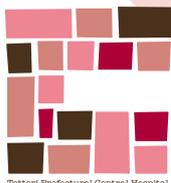


鳥取県立中央病院

Tottori Prefectural Central Hospital

学び合い、支え合う、仲間とともに。

私たちの鳥取県立中央病院	1
病院概要	
院長より	
平成30年秋、新病院開院予定	
看護局	1
教育理念	
看護局長より	
新人教育プログラム	3
新人看護師の1年間	
新人看護師の1日	
人材育成プログラム	6
クリニカルラダーシステム	
認定看護師・専門看護師	
ワーク・ライフ・バランスへの取り組み	7
オープンホスピタル	8
部活動の紹介	8
先輩からのメッセージ	9
災害派遣医療チーム DMAT	10
周辺環境	10



進化し続ける「鳥取県立中央病院」

私たちは「進化」をテーマにし、地域の高度急性期医療を支えるため、日々医療の質の向上に努めています。常に「心のこもった、情のある医療」を忘れずに、チーム一丸となり皆様に医療を提供します。

診療科

31科

総合内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、心臓内科、神経内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、小児外科、精神科、放射線科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器・乳腺・内分泌外科、脳神経外科、産婦人科、小児科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科、歯科・口腔外科、リハビリテーション科

病床数

431床（一般病床：417床、結核病床：10床、感染症病床：4床）

施設指定等

- 救命救急センター
 - 地域医療支援病院
 - 臨床研修指定病院
 - 地域周産期母子医療センター
 - エイズ拠点病院
 - 卒後臨床研修評価機構認定病院
 - 地域がん診療連携拠点病院
 - 二類感染症指定医療機関
 - ユニセフ赤ちゃんにやさしい病院
 - 災害拠点病院
 - 日本医療機能評価機構認定病院
- など

院長
池口 正英



優れた人材を育成し、 質の高い安全・安心の医療を住民の皆様を提供します

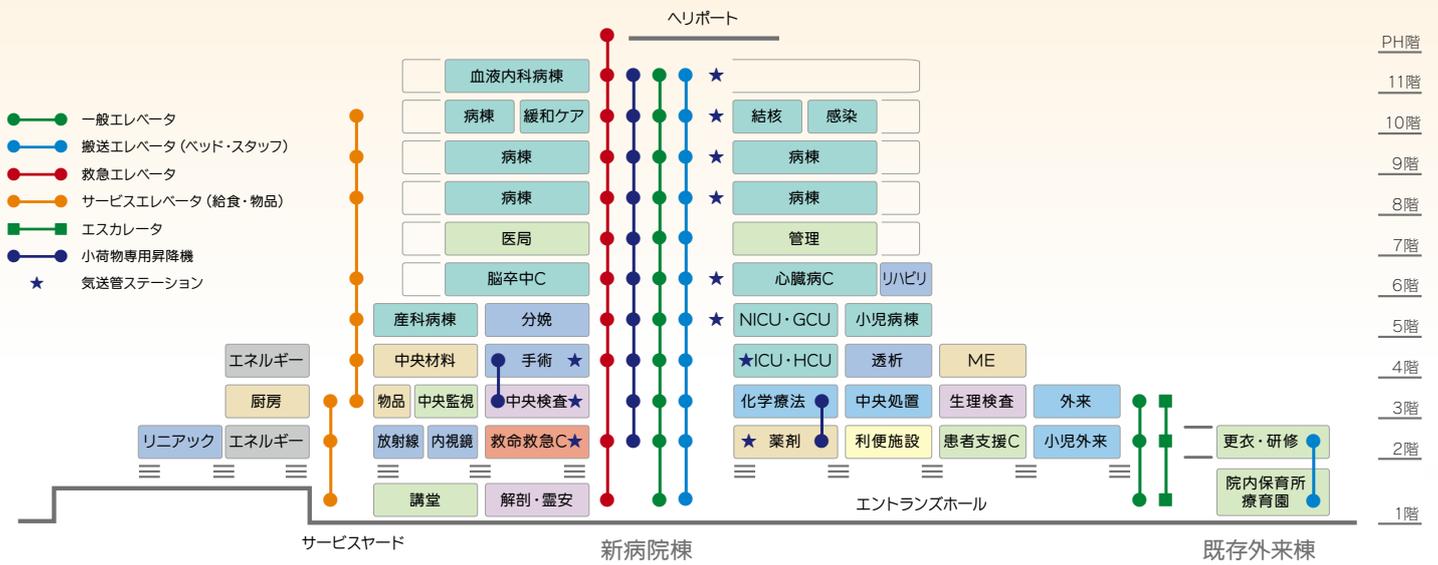
鳥取県立中央病院は、①安全・安心な高度医療の推進、②優れた人材の確保と育成、③強固な経営基盤作り、を重点的に推進します。当院は、高度急性期医療の担い手として、全国でも有数の病院へ成長していかなくてはなりません。そのために、チーム医療を推進し、チームが人を育てる環境を作りたいと思います。医療者一人一人が主役です。皆様の活躍を期待しています。患者さんにとっては「安心で信頼できる病院」に、職員の皆さんにとっては「働き甲斐のある職場」であるように職員一同努力してまいります。

看護局

良質で思いやりのある患者中心の看護を

教育理念

1. 私たちは、看護倫理に基づいて、安全・安心・満足される看護を提供する看護職員を育成します
2. 私たちは、急性期の高度医療・救急医療を支えるチームの一員として多職種と協働するとともに、地域医療の向上に努める看護職員を育成します
3. 私たちは、専門職としての役割を自覚し、自己研鑽に努め、主体的に行動する看護職員を育成します
4. 私たちは、働く環境を整え、地域に期待される看護職員を育成します
5. 私たちは、健全な病院経営に参画する看護職員を育成します



新病院階構成図

平成30年10月、新病院開院予定！

高度急性期病院としてのさらなる発展を目指し、人材面・設備面・環境面で着々と準備を整えています。「高度急性期病院として成長していこう」と皆が同じ方向を向いて日々研鑽し、共に力を合わせがんばっています。



新病院イメージ図

信頼される看護師を目指して

看護局では、「良質で思いやりのある患者中心の看護」を理念に掲げ、急性期の高度医療・救急医療を支えるチームの一員として、患者さんやご家族に安全・安心で満足される看護が提供できるよう日々取り組んでいます。

看護の3H、つまり

「Head：看護の知識と判断力、柔軟な思考力」

「Hand：根拠に裏付けられた確かな技術」

「Heart：豊かな感性と、思いやりの心」

を養い、専門職として一人一人のキャリアアップにつながるよう教育体制を考え、働き続けられる職場環境を整えていきたいと考えています。熱意のある皆さんをお待ちしています。私たちと一緒に働いてみませんか？

患者さんを
尊重する
看護

思いやりの
看護

質の高い
看護

看護局長
松本 美智子

わかばサポートチームで新人看護師を支えます

最初は先輩看護師と一緒に看護業務を行います。
ひとつひとつ丁寧に新人看護師を指導し、どんな時にも、優しく成長を見守ってくれる存在です。
先輩看護師だけでなく、部署全体で新人看護師の育成をサポートしていきます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ● オリエンテーション 社会人として、地方公務員としての心得などを聞きます ● 基礎技術研修 <ul style="list-style-type: none"> ● 感染対策の基本 ● スキンケア・ポジショニング・移動 ● 医療安全研修・内服・注射確認 ● 採血・静脈内注射 ● 口腔ケア・吸引・酸素吸入 	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作 ● 災害時の心得 ● 導尿・経管栄養・浣腸など技術演習 ● 宿泊研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 心電図モニターについて 	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸血療法と看護 ● シミュレーション研修① 	<ul style="list-style-type: none"> ● 救急看護 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん薬物療法の
 <p>これから頑張るぞ!</p>	 <p>宿泊研修</p>		 <p>先輩看護師と一緒に</p>	 <p>まずは働く環境に慣れるところから。わからないことはなんでも先輩に聞いてね。</p>	
		<p>実践ですぐ役立つ基礎技術を先輩看護師が講義し、実技を体験します。</p>			

新人看護職員の教育方針

1. 安全な看護を提供できる実践能力を身につけた新人看護職員を育成する
 - 集合教育とOJTを連動させた指導
 - 看護基準・看護手順を用いて看護の指導
 - 見学 → 共に → 一人でのステップを踏んだ指導
 - 慣れて出来るのではなく考えて出来るための指導
2. 看護師を続けていきたい、看護が楽しいと思える新人看護職員を育成する
3. 看護実践や研修から自己の課題を見つけ自己研鑽できる新人看護師職員を育成する

未来につながる大切な1年間です。
不安なこともたくさんあると思いますが、
各部署の「わかばサポートチーム」がしっかりと新人看護師を支えます。
わからないこと、困ったこと、どんなことでも相談してください!



あなたの笑顔を待っている人がいます

看護の現場は楽しいことばかりではないけれど、
患者さんの笑顔や「ありがとう」の言葉を励みに今日もがんばります。
私の笑顔が、誰かの笑顔の素になることを信じて。



実地指導者とともにカルテの確認をします



集中して情報収集をします

10:00

バイタルサイン測定・全身状態の観察
診察・処置の介助、検査介助
患者さんのケア
コミュニケーションを通じて状態を確認します。
患者さんとの会話で元気をもらうことも。

8:30

受け持ち患者さんの申し送り
カンファレンス
医師のオーダーを確認
その日の検査や点滴の確認

夜勤業務

夜勤開始は、6月の予定です

まずは、実地指導者とともに夜勤業務を経験します。
夜勤に慣れるまでは、先輩看護師が一人ついて業務にあたります。
少しずつ受け持ち患者さんを増やしていき、段階を経て夜勤への自信をつけることができます。

二交替と三交替が部署によって異なります

現在は、3部署で2交替をおこなっていますが、新病院では各部署に仮眠室を設置し、将来、2交替に変更しても対応できるように整備予定です。

新人看護師の

1日 日勤業務



12:00

患者さんのお食事（配膳）

13:30

カンファレンス

14:00

新入院患者さんの受け入れ
バイタルサイン測定など
点滴交換

15:00

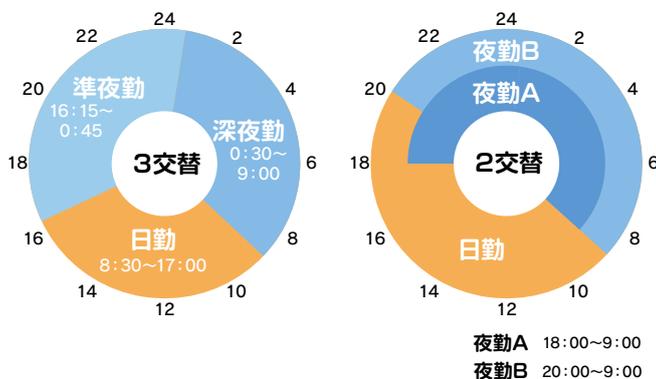
看護記録

16:15

夜勤者への申し送り
残務処理

17:00

業務終了



夜勤専従勤務も希望に応じておこなえます

実際に勤務している看護師の声

昼間の自由な
時間が確保できる

夜間の業務調整
が図れ、慣れる
と良い

未来の自分に向かってステップアップ

平成30年度の新病院の開設に向け、高度急性期医療を担う役割を認識し、看護の実践者として各自が目標を持って成長発達していくために教育プログラムを活用しています。

クリニカルリーダーシステム

「能力に応じた教育の機会の提供」を目的にクリニカルリーダーシステムを導入し、看護師個々のキャリアアップを支援するとともに、認定看護師など専門性を発揮するスペシャリストの育成にも努めています。各リーダーに応じたサポートを行うことで看護実践能力を育成し、看護の質の向上を目指します。当院では、すべての看護師がリーダー認定を目指す自己研鑽能力の高い人材を育成していきたいと考えています。



平成26年度より実施しているコース別研修は、専門領域の知識と技術を学び、部署の看護実践能力の向上を図ることを目的として継続しています。また、多様な勤務形態で働く看護師も学ぶことができるよう、eラーニングを用いた学習の機会を提供しています。

クリニカルリーダー認定

3月には、クリニカルリーダー認定式を行い、看護局長より認定書とリーダー認定マークを受け取ります。



看護のスペシャリストを育成しています

医療の高度化・専門分化が進む中で、より質の高い看護の提供を目指して、看護のエキスパートとして専門看護師・認定看護師の育成と活動支援を行っています。

認定看護師

- 救急看護認定看護師 2名
- 感染管理認定看護師 3名
- 不妊症看護認定看護師 1名
- 皮膚・排泄ケア認定看護師 1名
- 集中ケア認定看護師 1名
- 新生児集中ケア認定看護師 2名
- 緩和ケア認定看護師 1名
- がん化学療法看護認定看護師 1名
- がん放射線療法看護認定看護師 1名
- 乳がん看護認定看護師 1名
- 手術看護認定看護師 1名

専門看護師

- がん看護専門看護師 1名
- 母性看護専門看護師 1名

キャリアアップ支援体制 (院外研修等)

認定看護師養成	各分野の研修に派遣
看護教員養成	都道府県看護協会の看護教員養成研修に派遣
臨地実習指導者養成	実習指導者養成講習会に派遣
その他	各種短期研修に派遣

もっと働きやすい職場を目指して

看護師自身が生き生きと働き続けられる職場づくりをめざし、ワークライフバランスにも取り組んでいます。育児支援・介護支援など、様々な年代の職員が元気に働くことができるように、制度の周知と活用に努めています。

ワーク・ライフ・バランスの取り組み

平成25年度から3年間にわたり「看護職のワーク・ライフ・バランス普及推進ワークショップ」に取り組みました。昨年の5月には、日本看護協会会長より表彰していただきました。



カンゴサウルス

育児支援の充実

育児短時間勤務制度

小学校就学前の子どもを養育する場合、短時間勤務を行うことができます。

院内保育所「スマイル」

病院内に設けられた保育所が利用できます。

- 保育年齢：生後3ヶ月～小学校就学前までの乳幼児
- 保 育 日：月曜日～土曜日
- 保育時間：7時30分～19時（延長保育あり）
- 夜間保育：水曜日・金曜日
- 定 員：50名（病児・病後児保育は4名）



職場間コミュニケーション

しゃんしゃん祭り

毎年、8月のお盆に行なわれるしゃんしゃん傘踊りに「中病連」として参加しています。希望する新人は7月中旬からの練習に参加して、病院の代表という気構えを持って団結力を高めていきます。様々な職種の有志とともに参加することで、一員としての自覚が芽生えると同時に職種を越えた人脈作りにも役立っています。

新年会

毎年恒例の新年会では、有志による出し物もあり、みんなが笑顔で盛り上がります。



採用条件

- 身 分：正規職員（新卒者は看護師登録の翌月から）
- 給 与：初任給月額 約264,000円（夜勤手当、通勤手当、住居手当を含めた採用1年目（短大3卒）のモデル額）
*職歴に応じた給料の加算あり。
- 手 当：時間外勤務手当、休日勤務手当、特殊勤務手当、夜間看護手当、夜勤手当、防疫等業務手当、呼出手当、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当 等
- 賞 与：年2回（平成28年度支給総額 4.0月）
- 勤務体制：週38時間45分勤務 *3交替制、一部2交替制 *3人夜勤体制
- 休日・休暇：4週8休、有給休暇20日（4月1日採用者は15日） *特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇 等
- 福利厚生：育児支援、女性職員支援充実しています *院内保育所（24時間夜間保育あり） *短時間勤務制度
*その他：医療費の給付、貯金事業、貸付事業、祝金・弔慰金支給 等の制度があります

オープンホスピタル

OPEN HOSPITAL

毎年、医療系学生、高校生を対象にオープンホスピタルを開催しています。それぞれのブースで、説明を聞いたり、実際に体験したりと、未来を担う学生さん達に、病院の雰囲気を感じてもらえる一日です。オープンホスピタルに参加して当院に就職した看護師も多数います。



部活動の紹介

職種の垣根を越えて

野球部



看護師だけではなく、医師やリハビリ部門、臨床検査技師、放射線技師、臨床工学士、薬剤師など色々な職種が集まり、楽しく活動をしています。秋に開催される病院対抗試合を始め、色々な大会に参加しています。野球に興味のある方は是非入部してください。

写真部



ジャンルやレベルを問わず、カメラが好き、写真を撮るのが好きな人が集まっています。インドアでカメラについて語ったり、アウトドアで植物や景色を撮りに行ったりしながら、撮影スキルアップを目指します。院内での作品展示等もできればと考えています。

中病走らん会 (マラソン部)



ジョギングは有酸素運動の代表的な運動です。3km~42.195kmまでの色々な大会に参加しています。定期練習と個人練習をして、色々なマラソン大会に参加しています。鳥取マラソン大会にも毎年参加しています。

ボーリング部



色々な職種の者が集まり、月に1~2回程度ボーリングをしています。職種を越えての交流が図れています。ボーリングの好きな方だったらいつでも入部大歓迎です。

ゴルフ部



シングル並みから初心者まで、ゴルフ好きなメンバーが集まっています。毎週火曜日の練習と年に2~3回のコンペで楽しみながら上達を目指しています。

バレー部



男女合わせて20人程度の部員が所属しています。職種もさまざま。年齢もさまざま。毎週楽しくバレーをしています。今年度も輝かしい成績を残すため練習に励みます。あなたも一緒にバレーをしませんか!!

平成28年度 成績 (バレー部)

- 自治労スポーツ大会 鳥取県予選 優勝
- 中国5県バレーボール大会 準優勝
- 鳥取市対抗球技大会 優勝

新しい仲間へ。私たちからのYELL



患児の笑顔や元気な姿に励まされています

小児科病棟で働き2年目になります。患児の笑顔や元気になっていく姿に励まされ、日々頑張っています。小児科は領域が幅広く様々な知識が必要とされますが、先輩や同期に支えられ少しずつ出来る事が増えている事を実感しています。まだまだ知識・技術は習得中ではありますが、

日々の学びを糧とし小さな気づきを大切に、患児の持っている力と笑顔を引き出せる看護師を目指し働いていきたいと思っています。

赤田 裕美



学習と実践を積み重ねていき、もっと出来ることを増やしていきたいと思います

血液内科病棟で働き、2年目になります。1年目は初めての事ばかりで先輩のご指導のもとたくさんのことを学び日々の看護に生かしていくことができたと思います。どんなに忙しくても、分からないことを教えてくださるだけでなく、声を掛けてくださる先輩方に感謝しています。

まだまだ、たくさんの知識や技術が必要であり、学習と実践を積み重ねていき、もっと出来ることを増やしていきたいと思っています。

川本 成美



患者さんの「ありがとう」ととびきりの笑顔に支えられ、頑張っています

救命救急センターで働き、2年目となります。初めて社会人として働き始め、わからないことばかりの中で、多くの方に支えられてきました。まだまだ勉強途中であり、わからないこともできないこともたくさんあります。しかし、部署の方の優しさと励まし、患者さんの「ありがとう」ととびきりの笑顔に支えられ、頑張っています。これからも日々勉強し、1人でも多くの患者さんの笑顔がみられるよう、丁寧に看護していきたいと思

います。

山本 つぐみ



「看護はベッドサイドにあり」という言葉をモットーにしています

私は、内科病棟で働いて2年目になります。当院は急性期病院であり、日々の業務は多忙です。そのような中でも私は、「看護はベッドサイドにあり」という言葉をモットーに患者さんとの何気ない日常会話やかかわりの時間を大切にし、そこから、状態の観察や看護実践へとつなが

げられるようにと心がけながら業務を行っています。まだまだ未熟な部分は多々ありますが、自身の夢や目標に向け日々精進していきたいです。

石破 宏樹



同期や先輩に支えられ毎日笑顔で過ごすことができます

私は、手術センターで働き3年目になります。手術センターに配属が決まったときは驚きましたが、3年目になり自分のできることも少しずつ増えてきて自信を持って仕事ができるようになりました。まだまだ知識や技術が乏しく分からないことや辛いこともありますが、同期や先輩

に支えられ毎日笑顔で過ごすことができます。これからも初心を忘れず日々成長できるよう頑張っていきたいと思っています。

中原 麻衣



がん治療の中に光りを

私は、放射線治療室でがん放射線療法看護認定看護師として働いています。「痛くも痒くもない放射線治療で“がん”が治るって凄い！」という興味から深く学びたいと考え、この道に進みました。放射線治療はがん治療の根治から症状緩和まで様々な役割を担っています。放射線

治療を受ける患者さんが安心して、安全に治療に取り組むことができるようにチーム全体でサポートをしています。

がん放射線療法看護認定看護師 橋本 瑞樹



やりがいを持って看護ができる環境に感謝しています

私は、乳がん看護認定看護師として勤務しています。女性として多くの役割のある時期に病気療養する患者さんに、少しでも力になりたいとこの資格を選択しました。看護を続けていく中で患者さんと関わり、患者さんの想いを聴き、寄り添うことは難しいことではありますが、やり

がいを持って看護ができる環境に感謝しています。

乳がん看護認定看護師 樹下 和江



小さな輝く命と向き合い、サポートしていきたいと考えています

新生児集中ケア認定看護師の役割は、ハイリスク新生児の身体的ケアと神経行動学的発達および親子関係形成の支援です。NICUは赤ちゃんのための集中治療室で、早産や疾患を持った赤ちゃんが入院しています。赤ちゃんは日々成長しているので、赤ちゃんの反応を読み取って

ケアをしたり、発達を促すケアにも力を入れています。小さな輝く命と向き合い、家族の始まりをチームで協働しながらサポートしていきたいと考えています。

新生児集中ケア認定看護師 川元 真穂

DMATの一員として

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場で、急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。DMATの一員として災害時に活躍するため、日々訓練を重ねています。院内では5チームのメンバーが活躍しています。



一人でも多くの命を助けるために



熊本地震に出動



鳥取空港での救難訓練

周辺環境

とっとりで働いてみませんか？

鳥取県は、豊かな自然に恵まれたのんびりとしたところです。
きれいな山や海に囲まれ、空気も、水も、食べ物も、
とても美味しい、すてきなところです。
住む人はやさしく、話していると
なんとなくゆったりとした気持ちになります。

「とっとり」といえば、
砂丘です！
砂丘は、少し風のある日が
オススメ。きれいな風紋
がみられますよ！

山陰海岸ジオパーク



浦富海岸



雨滝

山陰海岸は、世界ジオパークに認定された大地の遺産ともいえる自然景観です。自然に親しみ、楽しめる場所が身近にある恵まれた環境です！



東郷池（鳥取県東伯郡）

鳥取砂丘（鳥取県鳥取市）



大山（鳥取県西伯郡）



「はたらくこと」も「生活すること」も大切に、自然に囲まれた環境で日々リフレッシュしながらともに支え合い、学び合い、一緒に成長していきましょう。

<http://www.pref.tottori.jp/chuoubyouin/>



Tottori Prefectural Central Hospital
鳥取県立中央病院

〒680-0901 鳥取市江津730番地
TEL 0857-26-2271 (代表)
FAX 0857-29-3227
E-mail chuoubyouin@pref.tottori.jp

